

## 第2回遺伝性腫瘍アドバンスセミナー開催および受講申し込み開始のお知らせ

各位

皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、2019年以来の2回目の開催となるアドバンスセミナーを実施することとなりました。

下記概要にて、ウェビナー配信を行い、その講義を収録し事後にオンデマンド配信いたします。ロールプレイ研修はありません。

今回は、「がん診療に活かす Cancer predisposition の考え方～がんゲノム医療から小児がんの診療まで～」をテーマに設定いたしました。包括的がんゲノムプロファイリング検査や遺伝性腫瘍のマルチパネル遺伝学的検査で対象となっている遺伝子で、Common hereditary cancer（遺伝性乳がん卵巣がん、リンチ症候群等）以外で知っておきたい遺伝子とそのマネジメントについて学ぶ内容となっております。またバリエーション評価と病原性解釈についても取り上げる予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

日程：2024年2月17日（土）

開催方法：ウェビナー配信、後日オンデマンド配信

テーマ：がん診療に活かす Cancer predisposition の考え方  
～がんゲノム医療から小児がんの診療まで～

受付開始：2023年11月30日（木）17:00～

2023年11月30日（木）より受講申し込み受付を開始いたしましたのでご案内いたします。

下記ご確認いただき、お申し込みをお願いいたします。

【遺伝性腫瘍セミナーホームページ】

<http://totalmap.co.jp/seminar-jsht/seminar/index.html>

【参加申し込みサイト：メディカルプライムへの事前登録が必要です。】

<https://medicalprime.jp/event/2adv-seminar-jsht/>

**登録期間：2023年11月30日（木）17:00～2024年3月31日（月）正午迄**

詳細は、ホームページをご覧ください、是非ご参加賜りますようお願い申し上げます。

日本遺伝性腫瘍学会遺伝性腫瘍セミナー委員会 委員長  
中島 健（京都大学大学院医学研究科 医療倫理学・遺伝医療学）

【お問い合わせ先】遺伝性腫瘍セミナー運営事務局

有限会社トータルマップ 内 担当：飛松

TEL：079-433-8081

E-mail: seminar-jsht@totalmap.co.jp

がん診療に活かす

## Cancer Predisposition

## の考え方

～がんゲノム医療から小児がんの診療まで～

2024年2月17日(土) 10:00～16:40

ウェビナー開催 + 後日オンデマンド配信

参加費用	会 員	非会員
医 師	10,000円	12,000円
非医師	8,000円	10,000円



本セミナーの修了証は

- ・ 遺伝性腫瘍専門医の新規申請、更新の単位
- ・ 遺伝性腫瘍コーディネーター (HTC) の更新の単位として認められています。

10:00	開会挨拶&理事長挨拶	石田 秀行	埼玉医科大学 総合医療センター
10:10	小児のCancer predisposition総論	田村 智英子	FMC東京クリニック
10:50	小児のがん易罹患性症候群①: DICER1 (DICER1症候群とその関連腫瘍)	中野 嘉子	Cancer Genetics, Division of Haematology/ Oncology The Hospital for Sick Children
11:30	休 憩		
11:40	小児のがん易罹患性症候群②: SMARCB1、 SMARCA4(ラブドイド腫瘍好発症候群: Rhabdoid tumor predisposition syndrome [RTPS])について	中野 嘉子	Cancer Genetics, Division of Haematology/ OncologyThe Hospital for Sick Children
12:20	がん易罹患性もある小児の先天性疾患①: TSC1、TSC2 (結節性硬化症: Tuberous sclerosis complex [TSC]) について	北村 裕梨	順天堂大学 小児科・臨床遺伝学
13:00	休 憩		
13:40	遺伝性腎癌: FH、FLCN(遺伝性平滑筋腫症腎細胞癌: hereditary leiomyomatosis and renal cell cancer [HLRCC])、バート・ホッグ・デュベ症候群: Birt-Hogg-Dubé [BHD] syndrome(について)	蓮見 壽史	横浜市立大学 泌尿器科
14:20	バリエーションの評価と病原性解釈①: TP53の評価の注意点や問題点	山崎 文登	慶應義塾大学 小児科
15:00	休 憩		
15:10	バリエーションの評価と病原性解釈②: ACMGガイドラインの応用に関する注意点や問題点	山本 剛	埼玉県立がんセンター 腫瘍診断・予防科
15:50	がん易罹患性もある小児の先天性疾患②: NF1(神経線維腫症I型: Neurofibromatosis 1[NF1] またはVon Recklinghausen Disease)について	西田 佳弘	名古屋大学 整形外科/リハビリテーション科 (骨軟部腫瘍専門)
16:30	閉 会		